

学校一礼

～自分を・人を・場を

『考える子』～

11月の正門掲示板

11月の正門掲示板は、担当の森先生、上田先生と保健委員会の子どもたちとで作成してくれました。11月は読書月間ということで、それぞれ自分の「おすすめの本」を紹介してくれています。



朝から「逃走中」

伊倉小学校は、それぞれの委員会活動が地道に継続する活動や工夫ある活動で学校を支え、盛り上げてくれています。中でも「期間限定」のイベント物には伊倉の子は食いつきが良く、多くの参加があります。先日は体育委員会による「逃走中」週間でした。朝からたくさんの子どもたちが運動場を逃げ回っていました。



5年生は稲刈り

7月に田植えをした稲が実り、収穫の時期を迎えました。11月15日に、PTA社会部の竹下さん、本山さん、そして苗を提供していただいた田上さんに指導していただきながら、稲刈りを行いました。のこがまで稲を刈り取り、まずは手作業で脱穀をしていきました。最後は、田上さんの超大型のコンバインの力を借りて、脱穀を完全に終わらせることができました。20kgぐらいの収穫だったかと思えます。



6年生は修学旅行へ

11月11、12日、6年生と修学旅行に行きました。2日間を共に過ごす中で、改めて6年生の楽しさ、愉快さを実感しました。JA駐車場に帰り着いたときに、バスの中で「ただいま」ではなく「行ってきま～す。」と叫んだのには、

おかしくてのけぞりました。そんな中で、平和の尊さへの学び、公共の場での行動の学び、学級集団としての高まりといったこの行事の目的については、しっかりと成果を残してくれたと思っています。



児童作文紹介

今、私の心の中に

伊倉小学校 六年 坂西 梨香

夏休み明けの、久々の登校日。1年生3人を連れて36日ぶりの学校に登校しました。私は、夏休み明けの学校に少しわくわくしていました。学校に着くとクラスのみんながいました。みんなに会うとやっぱり楽しくて、学校が始まってよかったなと思いました。

朝の会が始まりました。すると、先生が、「お知らせがあります。」と言いました。その内容は、明日から2週間、4時間授業で下校するというものでした。せっかく学校が始まったのに、授業が短縮になると聞いてちょっと悲しくなりました。(中略)

そんなある日、まん延防止が延長されて、4時間授業も延長されるというお知らせがありました。私はものすごくショックになりました。(中略)でも、こんなにマイナスに考えるのもよくないと考えて、がんばれば早く元の生活にもどれると信じて、今できることを精一杯がんばりました。

9月22日。いよいよ六時間授業が再開です。私は楽しみあまりドキドキしています。(中略)学校からはなれてすごすことの多かったこの期間で、私は気付いたことがあります。それは、ふだんの生活は、「楽しい・うれしい」が積み重なった大切な時間だったということです。もっと早く気付いた人もいるかもしれませんが、私は今、初めてこのことを感じています。私はもう6年生です。小学校生活も残り1年もありません。だからこそ、友だちと過ごせる毎日や、みんなと学べる1時間1時間、仲間と協力してつくりあげる運動会、すべてのことにほこりをもって過ごしていきたいです。

梨香さんの、学校、学級に対する気持ちがうれしくて、掲載させていただきました。子どもがこのような思いに込める責任が私たちにあることを改めて実感します。同時に、この仕事の醍醐味、やりがいであるとも思います。

※先日、学校からの帰り道で、5年生の5名(池上みゆさん、石原ももさん、坂田なぎさん、中村ゆうとさん、中川しょうたさん)が、転んで倒れておられた高齢の方を助け起こしてくれたということが、ご家族からの電話で分かりました。人として当然の行為ではあるとは思いますが、私はこの5名の行動を誇りに思います。